

# どうして米国は貿易赤字??



経済調査部 エコノミスト 齋藤 麻菜(さいとう まな)

## 貿易赤字削減を目指す米国

米国のトランプ大統領は、貿易赤字が米国の経済成長を抑制していると訴え、日本や中国といった対米貿易黒字国に対して為替や通商協定による対策を求めています。

貿易収支とは、一国の輸出額から輸入額を引いた額です。米国の貿易収支は1970年代に赤字化し、近年に至るまで大きく拡大しました(資料1)。何故、長年にわたって貿易赤字が続いているのでしょうか。

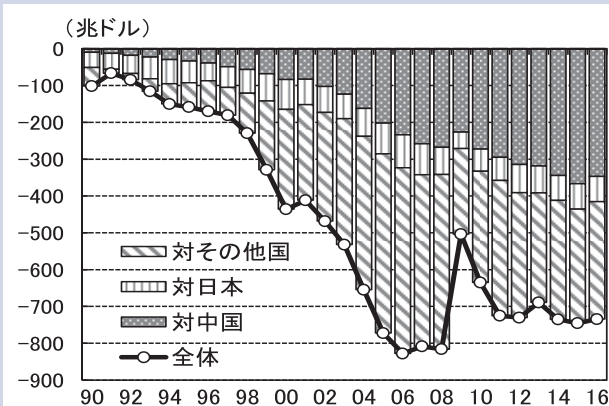
## 先進大国ゆえの貿易赤字

米国は、GDPの約7割を消費が占める消費大国です(日本:6割、中国:4割)。米国の成長率を牽引してきたのも個人消費です(資料2)。米国の貿易赤字の背景には、旺盛な消費によって消費財の輸入規模が大きいことが挙げられます。さらに、米国のような先進国は、①国際的な信用力の高まりから通貨高になる傾向にあること、②賃金を始めとする生産コストが上昇すること等を背景に、製造業の競争力が低下します。それが、輸出の減少・輸入の増加を招き、赤字の要因となります。

米国にも70年代以前には貿易黒字の時期がありました。しかし、同時期に比較的低コストで製造を行う日本や中国が取って代わるように貿易黒字となり、米国は赤字を拡大させていきました(資料3)。貿易収支は経済発展の度合いによって、収支を変化させています。経済発展を遂げているからこそ、米国は貿易赤字になりやすい体質となっているのです。

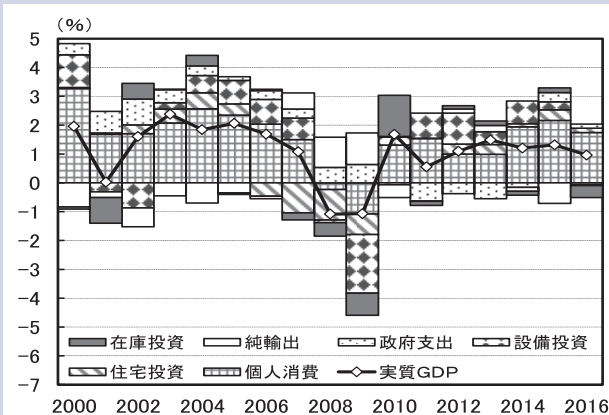
輸入品への関税引き上げ等によって自国製品が売れるようになれば、米国の製造業には恩恵となるかもしれません。しかし、国内外の消費者は割高な米国製品を購入することになります。今後トランプ大統領が貿易赤字削減に、どのような手段を講じるのか、そして日本にどのような影響を及ぼすのか、注目が必要です。

資料1 米国貿易収支推移



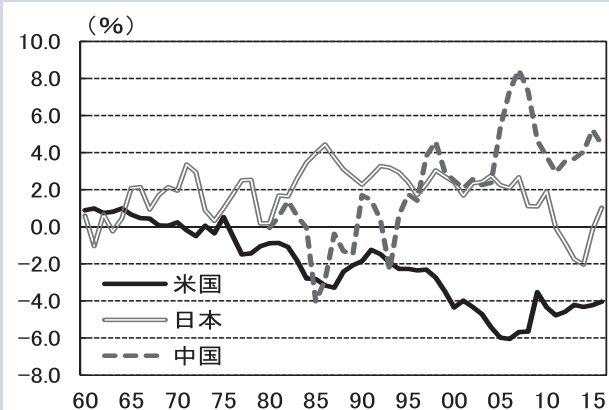
(出所)米国センサス局

資料2 米国実質GDP成長率



(出所)米商務省

資料3 各国の貿易収支GDP比率



(出所)Thomson Reutersより当社作成